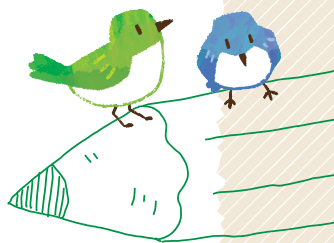


厚生労働大臣賞
小学生の部



「弟が教えてくれたこと」

盛岡市立津志田小学校
6年 高橋 瑞葵さん

私には重度知的障がい・自閉症の弟がいます。自閉症は、人とのコミュニケーションがうまくできなかつたり、大きい音が苦手だったりしますが、弟がまさしくそうです。そして弟は会話が出来ません。そのため弟はほしい物があるときは手をのばして教えてくれます。またどこかへ行く時は写真を見せて伝えるようにしています。弟はそれをすぐに理解します。

弟はほとんど毎日、放課後等デイサービスに行っています。夏休み中は私が何回か見送りしましたが、お母さんになれた気分でした。私は小

さいころは弟と一緒に幼稚園や学校に行けるのかなとか、いつか姉弟げんかをしてみたいと思ってきましたが、叶いませんでした。しかし私にも見送ることができたり、よく「お姉ちゃん」と言っているような目で、私の手を引っぱり、やってほしいことを伝えてくれるのがうれしいです。

以前、お父さんと弟の二人で電車に乗る練習をした時のことです。弟がリュックにヘルプマークをつけて優先席前にいても、席をゆずってくれる人はいなかつたそうです。それを聞いた時私は、なぜ席をゆずってくれないのだろうと思いました。

弟は特別支援学校に通っています。一人一人の成長に合わせてできることを増やしています。私は学校が休みの時、お母さんと一緒に弟の学校に行き、担任の先生と話したことがあります。また登校時の弟を見て少しずつ成長しているのが分かりました。毎年見に行っている発表会は、家では見ることでできない笑顔で堂々とステージに立つ弟の姿を見たいです。他の生徒さんたちも、歌ったりダンスをしたりする人もいれば、座って楽しむ人もいてそれぞれ

に合ったやり方でステージに立っており、今までたくさん練習してきたことが伝わってきました。若手県内全ての特別支援学校が集まった作品展にも毎年行きますが、個性あふれる素晴らしい作品ばかりで、私も明日からがんばろうと元気をもらっています。

弟の他にもヘルプマークをつけている人はたくさんいます。見かけたり困っていたりしている時は、席をゆずったり声をかけたりするなど優しく見守ってほしいです。私の弟は楽しい時も不安な時も大きい声を出したり、こちらの言っていることが分からなかつたりすることも多いけど、少しずつできていくこともあります。人の成長のスピードがちがうということ、人それぞれ得意、不得意なことがあるということ、私は多くの人に伝えたいです。

私の将来の夢は、子供たちが安心して楽しく過ごせるようにしたいから、子供を支える仕事にしたいです。このように考えたのは、弟のおかげです。